

# サポートルームだより

2024年11月1日 No.7  
町田市立南成瀬小学校  
サポートルーム拠点校  
校長 吉成 美紀  
サポートルーム担当

日中の気温が少しずつ下がり始め、特に朝夕は肌寒く感じる季節になってきました。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期ですが、子供たちは元気よくサポートルームで学習しています。

先日はご多用の中、個人面談にお越しくださりありがとうございました。今月はサポートルームの授業参観を行います。お子さんの頑張っている姿をぜひご覧ください。

## 11月・12月の主な予定

- |                  |   |
|------------------|---|
| 11月14日(木)        | 中学校サポートルーム説明会<br>場所 南成瀬小学校 3F サポートルーム<br>時間 9:00~11:00    |
| 11月22日(金)~28日(木) | サポートルーム授業参観期間   |
| 12月 6日(金)        | サポートルーム2学期指導終了<br>(月曜日は休日が多かったことから、月曜グループのみ16日(月)まで指導します) |

## サポートルーム授業参観について

- 期間中、お子さんが指導を受けているグループのみご参観いただけます。
- 日程が合わない場合は、同じグループに限り、別の週に調整できるように努めます。指導担当者に事前にご相談ください。
- 当日、参観できない場合は「今日は他のおうちは見に来るかもしれないけれど、うちは行けないからごめんね。」のように、事前にお子さんに伝え、心づもりをさせてください。「他の家は来てくれているのに、なんでうちだけ来ないんだ」と気持ちが落ち着かなくなった子が過去にいました。



## 褒めるときのポイント

望ましい行動が増えるように、サポートルームではできたことをすぐに褒めています。ただ「すごい!」と褒めるのではなく、できたことを具体的に褒めることで、お子さんの心に響きやすくなります。今回はすぐに実践できる、5つのポイントをご紹介します。

### ①名前を呼んで褒める

褒める前にはお子さんの名前を呼んで意識をこちらに向かせることが大切です。褒め言葉を言っても、名前を呼ばれないと、自分が褒められていることに気付かない場合があります。

### ②すぐ褒める

「その場で」「そのときに」伝えることで、褒めるタイミングを逃さないようにすることがポイントです。時間が経つと自分がしたことを忘れてしまい、せっかく褒められても何を褒められているか、分からない場合があります。

### ③具体的に褒める

「背中がピンとまっすぐ伸びているね。」「電話しているときに静かに待ってくれて助かったよ。」など、何が良かったのかを具体的に伝えることがポイントです。

### ④増えてほしい【望ましい行動】を言葉にする

お子さんの望ましくない行動を見ると、「〇〇しないで。」と伝えがちです。例えば、「足をふらふらししないで。」ではなく、「床に足をつけて座ってね。」のように、増えてほしい【望ましい行動】を言語化して具体的に伝えることで、子供たちは何をしたらよいか分かります。

### ⑤指示通りできたことをそのまま述べる

例えば、宿題をやるときに「鉛筆を出してね。」と伝え、指示通りできたら「鉛筆出せたね、OK!」のように、できたことをそのまま述べるだけでも褒め言葉になります。短い言葉で少しずつ指示を出すことで、褒める機会が自然と増えます。

5つすべてを一気にやろうとはせずに、実践できそうなものを一つ二つ選んで、まずやってみるとよいそうです。

参考文献：『発達障害・グレーゾーンの子がグーンと伸びた声かけ・接し方大全』

小嶋 悠紀 著(講談社)